





食と農を守るイノチノミズ

2016年度から始まった「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーンでは、県内各地の食と農の取り組みや水利施設を紹介してきました。この間、県内の生産現場は干ばつ、豪雨、日照不足などさまざまな気候変化に翻弄（ほんろう）され、今年は少雪による水不足が心配されています。こうした天候変化の影響を最小限に抑えているのが水利施設。農家の皆さんの苦労が結実し、私たちが安定した食を得られるのは水利のおかげです。加えて豪雨時には速やかな排水によって、田んぼや畑だけでなく私たちの暮らしも守っています。キャンペーン5年目の今年、農業水利と私たちの暮らしをともに考えましょう。

あなたのまちの
「水利の恵み」

フォト📷
コンテスト

テーマ
命と暮らしを支える
農業水利

ダムや水路、田んぼといった県内の「水利の恵み」を感じる写真をご応募ください。入賞・入選作品は新潟日報メディアシップ20階のそらの広場で今秋に展示します。

9月11日(金) 応募先必着

賞

最優秀賞1点、優秀賞3点など。
入賞者には賞状と副賞のおコメ贈呈、
入選者には写真フレーム（新潟フジカラー提供）
をプレゼントします。

応募票(チラシ)や応募要項、詳細等は
下記水利キャンペーン特設サイトをご覧ください。

寄せられた個人情報は審査と本キャンペーンの運営のみに使用します。

5年目となる「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーンでは、これまで実施した事業の集大成となる活動を行います。各地の土地改良事業の現場を巡ってきた旅するイラストレーター木原四郎さんが、今年も県内の水利施設や生産者らをスケッチで紹介。また水利施設をより身近に感じてもらうため、「あなたのまちの水利の恵みフォトコンテスト」を開催し、作品を募集。入選作品は10月23日～11月11日の期間、新潟日報メディアシップにて展示します。さらに今秋には、同じくメディアシップにてキャンペーンを総括するフォーラムを開催し、フォトコンテスト入賞者の表彰式も行います。詳細は新潟日報朝刊紙面やキャンペーン特設サイトをご覧ください。

◎「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン 特設サイトもご覧いただけます

特設サイトでは、水利・農業に関する情報や、土地改良事業の役割を発信しています。県内の水利施設の紹介や、過去の紙面もアップしています。 [水利が拓く 実りの明日へ](https://minori-niigata.jp/) [検索](#) <https://minori-niigata.jp/>



お問い合わせ

「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン事務局（新潟日報社広告部内）
新潟市中央区万代3-1-1 ●TEL 025-385-7474（土日祝日を除く／10:00～17:00）
●ファクス 025-385-7476 ●Eメール minori@niigata-nippo.co.jp

企画・制作
新潟日報社広告局

◎主催／農林水産省北陸農政局 ◎共催／新潟日報社
◎後援／新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟